

# お知らせ

## 洪水を安全に流下させるために 筑後大堰のゲートを全開しました

- 概要** 筑後大堰では、台風5号の影響による洪水を安全に流下させるために、令和元年7月21日6時10分にゲートを全開にしました。



- 状況** 【雨量状況】 ※速報値  
瀬ノ下上流域累計雨量：185mm(7月19日21時から22日21時)

【河川状況】 ※速報値  
大堰直下流量：毎秒約2,920立方メートル(7月21日11時)  
堰地点での水位：TP. + 4.76 m(7月21日12時)

【操作状況】 ※速報値  
洪水時(ゲート全開)開始：令和元年7月21日 6時10分  
洪水時(ゲート全開)終了：令和元年7月21日23時40分  
(ゲート全開)操作時間：17時間30分

※印は、速報値であり変わる場合があります。

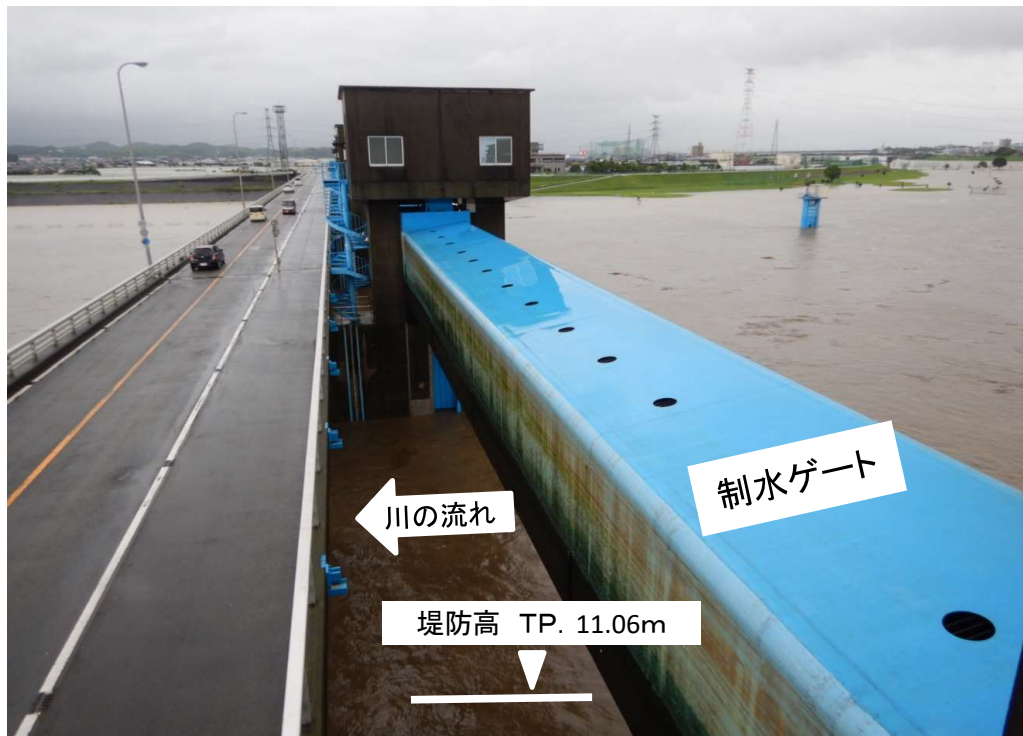
なお、今回の全開操作は、昭和60年4月の運用開始より127回目（今年度は1回目）となります。

## 洪水時のゲート状態(ゲート全開)



ゲート全開操作開始後の筑後大堰（堰上流側から望む）

7月21日12時撮影



ゲート全開操作開始後の筑後大堰

（堤防高と同じ位置にゲートを引き上げました。）

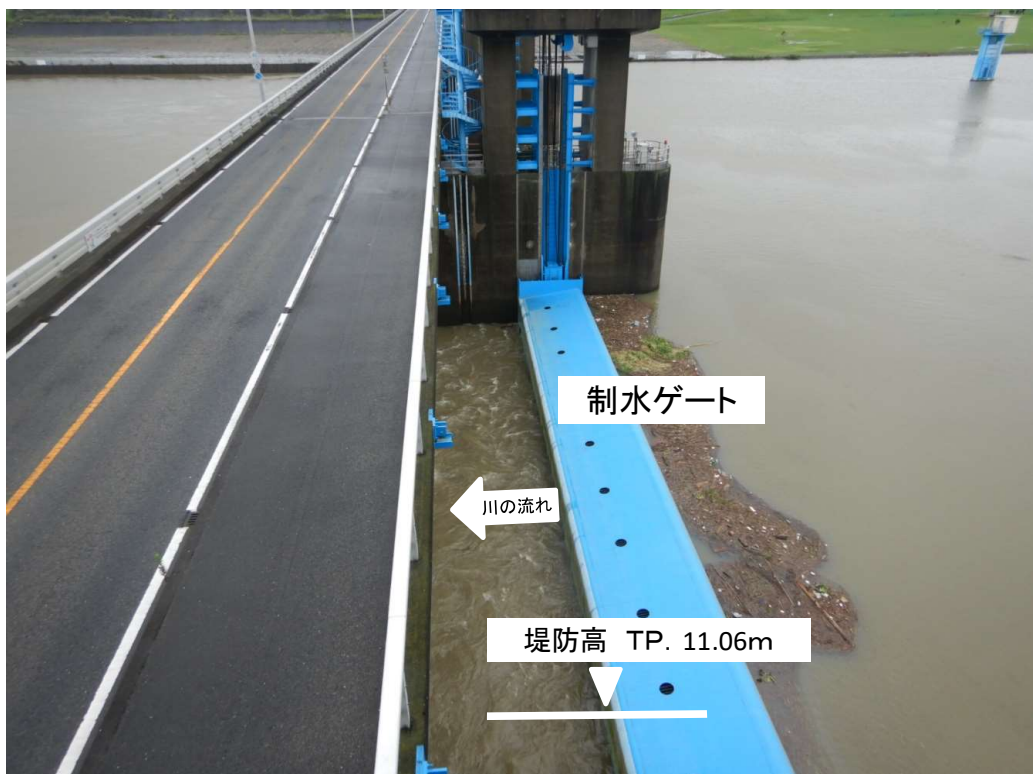
7月21日12時撮影

## 平常時のゲート状態



ゲート全開操作終了後の筑後大堰（堰上流側から望む）

7月22日 10時撮影



ゲート全開操作終了後の筑後大堰

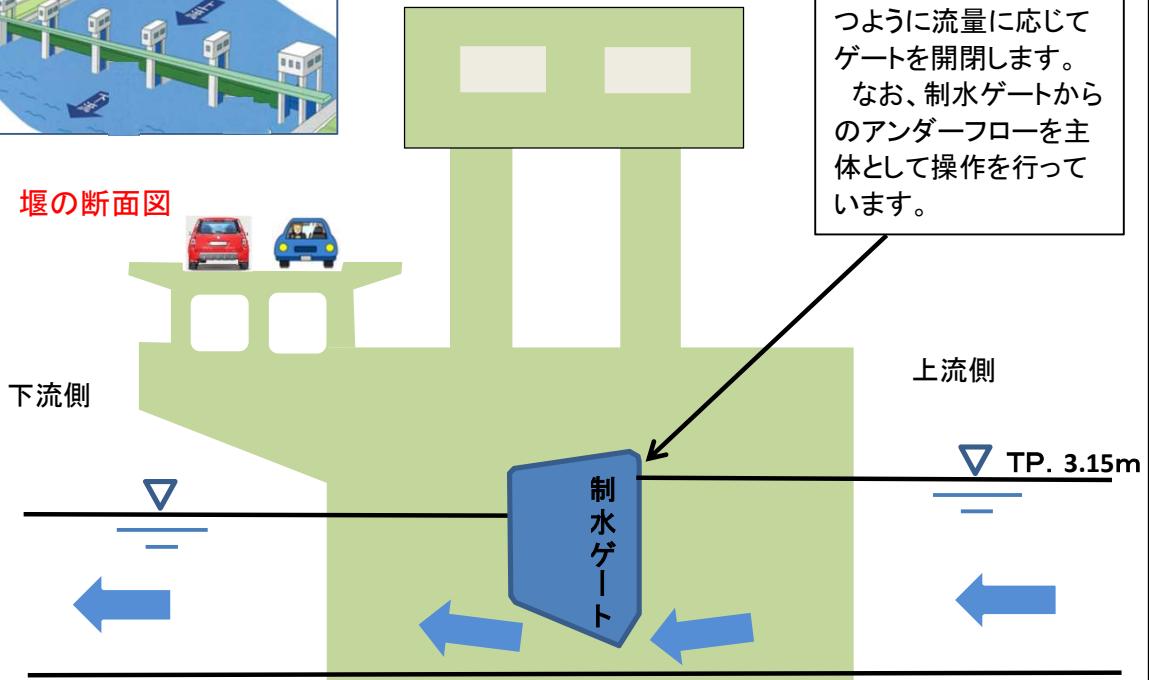
7月22日 10時撮影

## 平常時のゲート状態 (アンダーフローの模式図)

筑後大堰(イラスト)

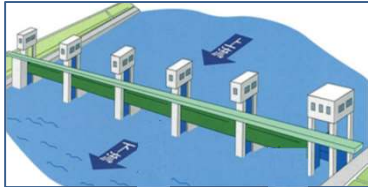


堰の断面図

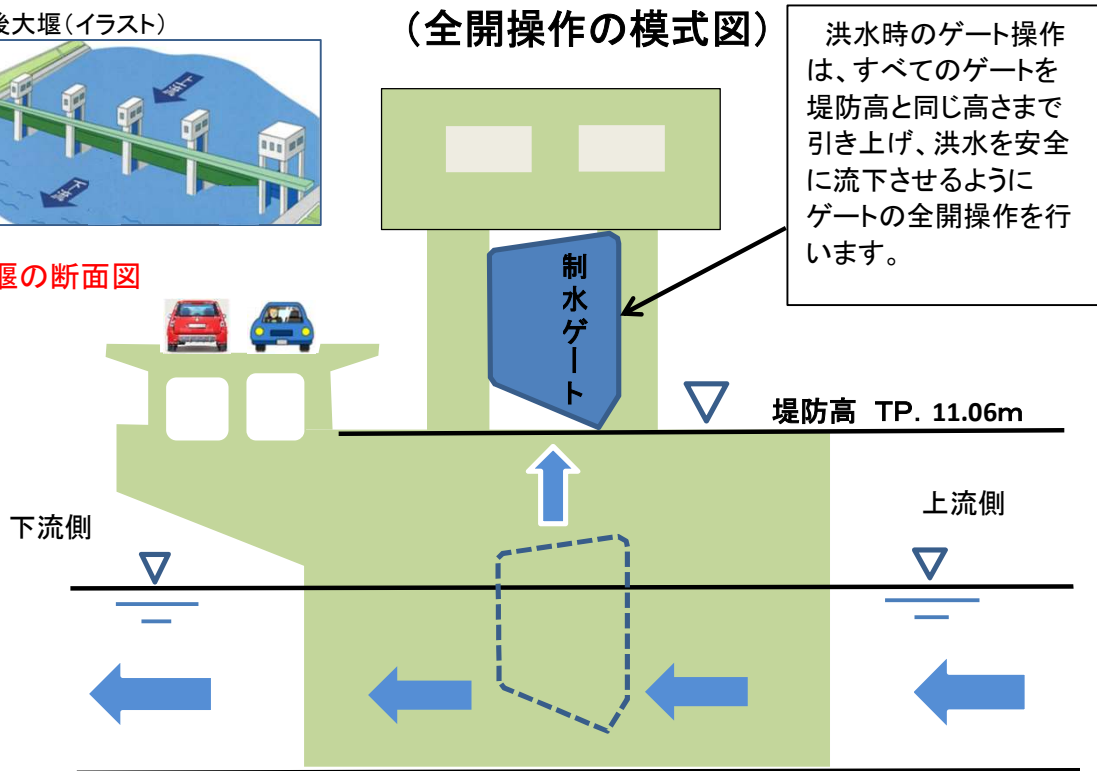


## 洪水時のゲート状態 (全開操作の模式図)

筑後大堰(イラスト)

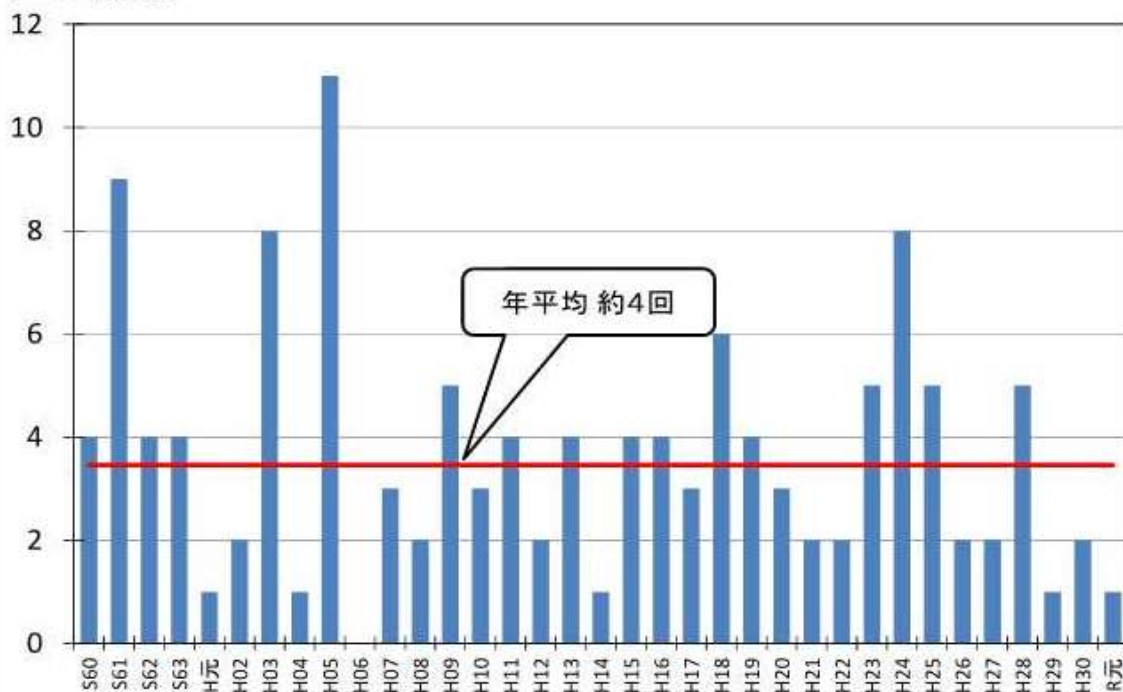


堰の断面図



【筑後大堰における管理開始以降後の年別ゲート全開操作回数】

ゲート全開回数



※ R元は 7月21日までの回数です。(暫定)

【管理開始後最大】

運用開始以降最大の出水は、平成24年7月九州北部豪雨による洪水であり、瀬ノ下地点で毎秒約5,900立方メートルの流量を観測しています。

【管理開始後の順位】

## 出水記録

筑後大堰地点の管理開始からの最高水位上位5		
1位	T.P 7.58m	(H24.7)
2位	T.P 7.31m	(H30.7)
3位	T.P 6.59m	(H2.7)
4位	T.P 6.57m	(H29.7)
5位	T.P 6.31m	(S60.6)

( T. Pは東京湾平均海面水位からの高さ )